集大成

平成２９年１１月２０日（月）
四季が丘小学校　研究推進便り

素敵な道徳の時間でした！

先日西本先生が道徳の時間の研究授業を行いました，
「グミの木と小鳥」という資料をもとに，「思いやり」について考える時間でした。
西本先生は非常に落ち着いておられ，子どもたちは安心して授業に向かうことができていました。
当日の授業のポイントを紹介します。

・効果的にICTの活用した導入の工夫

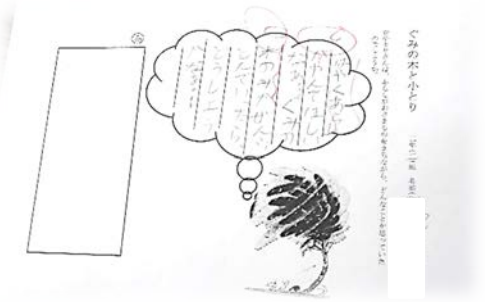
電子黒板で学級の児童がドッジボールをしている写真を提示しました。これまでに，みんなでドッジボールをした経験を想起させながら，みんなで考えてみたいことについて問いかけ，具体的な場面で友達にどんな言葉をかけるかを話し合いました。写真に重ねるように，事前にアンケートを取っておいた子どもたちの言葉を提示しました。ねらいを焦点化して，ふわふわ言葉はピンクで，ちくちく言葉は水色で色分けをして表にまとめてあったので，子どもたちは集中して考えていました。
児童の体験を意図的に取り上げたこの導入を通して，児童が主題に関わる学習課題をつかみ，学習意欲をもつことができていました。

・資料の読み聞かせ

場面絵を黒板に貼りながら，読み聞かせをしました。落ち着いた範読に児童は聞き入っていました。丁寧に板書計画を立てたことが分かる場面絵の提示で，黒板全体を構造化し，有効に使うことができていました。

・ワークシートの工夫

あらしの様子がわかる場面絵とふき出しというシンプルなワークシートを自作し活用しました。小鳥は，あらしがおさまるのをまちながらどんなことを思っていたのかを，児童はしっかりと考えることができていました。



〇リスさん，だいじょうぶかなぁ。あらしでびょうきがもっとひどくなっていないかな。
　あした，ぜったいいこう。
〇はやくあらしがおさまってほしいなぁ。木のみがぜんぶとんでいったらどうしようかなぁ。

・役割演技（道徳的行為に関する体験的な学習）

教材を一般化した後に，導入で提示したドッジボールの場面での課題とつなぎ，学びを振り返りました。ご自分がまこちゃんになりきって，「にこにこまこちゃん」と「めそめそまこちゃん」の顔の図（オリジナル教具）を見せながら役割演技をし，ボールがとれなくて困っている友達やボールが当たってしまって元気をなくした友達に，どのような声かけにしていきたいかをじっくりと考えました。児童は，自分自身の生活と結び付けながら，相手のことを考えて行動することや優しい声かけをすることについて考えることができました。

（児童の振り返りより）
　今日，この勉強をして思いやりということばが出てきました。思いやりにはほかにも，お年よりにせきをゆずったり，かかりのしごとをゆずったりいろいろなことにつかえるということがわかりました。

次期指導要領の改訂に向けて，昨年度から道徳の時間の研修を行い，学びを深めているところです。当日の西本先生の授業は，道徳における主体的な学びを実現する手立てや工夫が随所に見られました。今後の道徳の教科化の全面実施に向け，「考え，議論する道徳」を目指し，授業改善を進めていきましょう。